

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993



←「岩手県宮城県
気軽にお茶飲み交流会」
(於:東海市)



「ふくしま交流会」(於:豊橋市) →

○新型コロナウイルス感染症が心配なときの看護師による一般相談窓口(健康相談)

感染症対策局感染症対策課 感染症グループ

Tel:052-954-6272 Eメール kansen-taisaku@pref.aichi.lg.jp

* 最新情報は愛知県 HP をご覧ください→ <https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>

◎愛知県精神保健福祉センター (名古屋市以外の方)

「新型コロナウイルス感染拡大で不安などを感じていらっしゃる方へ」

○電話番号：052-962-5377

○相談時間：平日9時～12時、13時～16時30分

* 匿名で相談可能です。一般的な心の悩みのご相談もお受けします。

◎名古屋市精神保健福祉センター ころぼ (名古屋市の方)

「名古屋市新型コロナウイルスこころのケア相談」

○電話番号：052-483-2185

○受付時間：平日8時45分～12時、13時～17時15分

《もくじ》

- P1. 写真:岩手県宮城県気軽にお茶飲み交流会/ふくしま交流会、新型コロナ・心の相談窓口
- P2. 岩手県宮城県気軽にお茶飲み交流会
- P3. ふくしま交流会
- P4. インタビュー:土方さん、イベント情報、編集後記

岩手県・宮城県 気軽にお茶飲み交流会

《於：東海市しあわせ村健康ふれあい交流館》

10/4(日)10:00～15:00 に「岩手県宮城県 気軽にお茶飲み交流会」を1年ぶりに開催することができました。ここ数年は春と秋の年2回開催していましたが、新型コロナで春は開催できず、皆さんから近況報告を寄せてもらい、『メッセージ集』という形での交流となりました。今回も随分迷いましたが、「直接皆に会いたい」との声が寄せられ、実行委員会で相談しました。

開催に際し、感染対策として①今までより大きな会場で間隔をとる②食事づくりは中止し、お弁当にする③マスク、消毒、換気等の基本的な感染対策をしっかりとる④オンライン参加も可能とする、以上を念頭に、実行委員会で開催に踏み切ることにしました。

参加者は7世帯(オンライン参加1人)で計8人です。専門家(臨床心理士、在宅保健師、社協職員)、ボランティア、センタースタッフ含め総勢22名の参加となりました。



午前は、参加者の近況報告交流、午後は、自由時間でハーブティータイムと聚楽園公園・大仏像への散策、お茶飲み交流を行いました。ハーブティーはブルーマロー(和名ウスベニアオイ)で炎症を抑える効果のあるものです。

最後に「笑いヨガ(健康ヨガ)」を、コロナ予防で距離

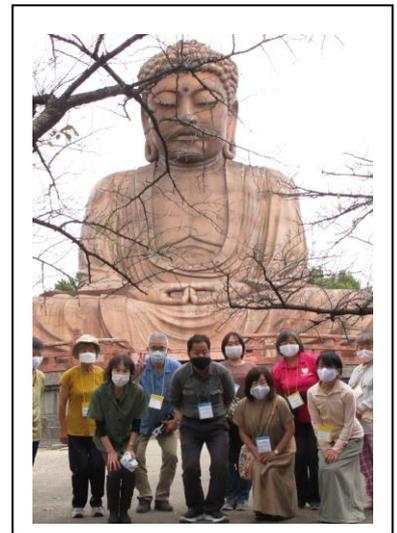


を取り静かに行って解散しました。

近況報告では、被災体験に加え、このような新型コロナの被害にあうとはだれもが予想しなかったことで、それと対峙する毎日の生活が語られました。お父様の7回忌を、悩んだ末に岩手で開催できたこと/介護の仕事で、ここまで感染対策をやるのかと日々葛藤しながら働いていること/施設入所中の親族と面会がままならない不安/毎日がほとんどステイホームで家に閉じこもらざるを得ないこと/いかに人と人とのつながりが生きていく上で大切かを実感し、自覚的に生活していくことの大切さを痛感したこと/(オンライン参加のNさんは)自宅周辺を毎日4、5,000歩歩いたり、家族の夕食を作っていること/勤めている会社の商品がコロナ禍で売れなくなり、在庫管理に苦勞しながら仕事を続けている、という苦勞話もされました。語れば語り尽せない感じで、あっという間に午前中が過ぎました。

毎年この交流会を楽しみにされているTさん

が、最近病気をされ、久々の外出で、次の感想を寄せていただきました。「年のせいで耳が遠くなり、みんなの声が聞こえなく残念ですが、顔を見ただけでも幸せです。もう名古屋に来て10年と早



いもので、病気をしても交流会に出席でき、こんな幸せなことはないと思います」(スタッフ 仲田)

ふくしま交流会

《於:コープあいち豊橋生協会館 13:00~16:00》

10/17(土)、豊橋市で、民医連の医師による甲状腺エコー検診と相談交流会が、ふくしま交流会実行委員会主催で開催され、5世帯13名の方が参加されました。甲状腺検診は、密にならないよう受診時間をずらせた事前予約で行われました。

会場の受付でも、マスク着用・手指消毒はもとより、お一人ずつ体温を測定して、コロナウイルスの感染予防に気をつけながら始まりました。残念ながら例年のように、皆で昼食を作り歓談することは出来ず、その分、オンラインでの交流が盛り上がりました。

オンラインでは福島から、いわき市へ帰還された根本美佳さん・未結さん親子、南相



馬市小高区で双葉屋旅館を経営する小林友子さん・岳紀さん、そしてふくしま連携復興センターの目黒さんが参加、名古屋市からは尾子富夫さんがリモート参加し、豊橋の会場とを結んで、互いの顔が見えて話せる楽しい場となりました。



小林友子さんは、忙しい旅館のおかみの仕事の合間に、「自分たちは先に地元に戻り旅館を再開したけど、小さな子どもさんのいる家族は避難を続けていけばいい、それぞれの生き方でいいと思います」と話してくださいました。

根本美佳さんと未結さんは、なつかしい顔ぶれを見て終始うれしそうな笑顔で、会場の皆さんは成長した未結さんにエールを送ったりして、互いに元気な様子を確認することができました。



検診を終えた早川医師はオンライン交流にも参加され、「甲状腺エコー検診の結果は問題な

かったですが、様々な不安が聞かれました。一緒に考えていくことが大切です。リモートでの交流は大変良かったです」と感想を述べられてい



ました。在宅保健師会の丸山路代さんは、「コロナ禍、参加者の日常を聞いて良かったです。オンラインでは、顔の見える交流会で、つながりのある人にとってはとても励みになったのではないのでしょうか」、また臨床心理士会のメンバーは、「震災からの時間の流れ、その中で変わる思い、変わらない思いがあるように感じました。コロナ禍の中で、通常では見られない福島在住の顔もうちがうことができ、貴重な機会になったと思います」

この日参加した金城学院大の学生2名は、「それぞれの避難者の方がたの貴重な言葉、想いを私たちが伝えていけるようこれからも励んでいく所存です」と参加のお礼を伝えてくれました。

最後は、各所から手を振り合い、笑顔で再開を

願いながら、オンライン交流会を終了しました。
(スタッフ 戸村)



インタビュー ひじかた ゆき 土方 幸さん(新城市)

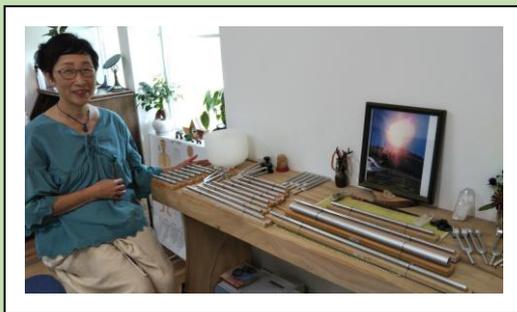
新城市の土方 幸さん(「保養整体室えんじゅ」主宰)を訪問してお話を聞かせていただきました。《聞き手:瀧川裕康(あおぞら編集委員)》

＜「保養整体室えんじゅ」→＞



◎**避難について**：当時は東京都国立市に住んでいました。チェルノブイリ事故の支援団体へ寄付したり学習会に参加していたので、原発の危険性は知っていました。それゆえ事故を軽視できず、3月18日に母子3人猫2匹で友人を頼って新城市に緊急避難したのです。それでも移住するかどうか悩み、ネット情報ばかり集めまくる日々。小学2年生の息子も不登校になりました。自主避難者には自治体の補助もなく、貯蓄も消え鬱になりかけました。猫と住める家を借りられたのは半年後の9月。さらに腹をくくり、社協で借入した資金で自動車免許を取って仕事探しを始めました。そんな甲斐あって、翌年夏からは新城市のお仲間と共に福島の子どもたちを保養に招く『おいでん！福島っ子』に家族3人ボランティアで参加することができるまでになりました。非常に大変な日々でしたが、「小さな人を守ろうとする者は、自分自身も守られる」ということを体験してきた気がします。

◎**整体の仕事**：仕事は介護職からスタート、ダブルワークで整体の仕事をやりました。人と向き合う現場で、身体だけでなくメンタル面を支える必要性に気がつき、「統合医療整体師」として開業する流れになりました。50歳の遅咲きデビューの分、心に寄り添う対話のある施術をしています。様々な患者



＜音叉によるヒーリング↑＞

さんが涙されながら心身のバランスを取り戻していく過程は、私自身も素直になれ癒されることが多いのです。近年は自分自身の悩みでもあった発達障がい児の療育にも施術の幅を広げ、研究を深めている最中です。お客様は地元の高齢者はじめ子育て中のお母さん、お父さん、遠くは岐阜県から通って下さる方々、様々な方に暮らしを支えていただいています。来年は移住10年、私も還暦を迎えますが、学びながら働ける日々を今では幸せだと感じています。



◎「魔女先生」の言葉：「痛い の つらいの 飛んでいけ！」 ＜整体のお問合せ等→

【イベント情報】…詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。コロナ対策の上、開催します。

開催日	イベント名	内容(主催など)	会場
11/15(日) 10:00~15:00	甲状腺エコー検診&交流相談会	受診時・待合・交流相談時、感染予防、密集を避けて実施(オンライン個別相談も可能)(共催:愛知民医連&愛知県被災者支援センター)	北医療生協・北病院&すまいるハートビル・ワイワイルーム(地下鉄・名鉄上飯田駅5分)
11/22(日) 11:00~14:00	めぐりあい 芋ほりと いも煮会 2020 (★参加費有り)	豊明・「南山ワイズ農園」で「芋ほり」と「いも煮」、「ピザ」を楽しむ(主催:自主グループめぐりあいの会)	集合:10時に「発達センターあつた」(名古屋市熱田区)
11/22(日) 13:00~17:00	福島交流相談会	相談会・街歩き等(主催:レスキューストックヤード・ふくしま支援室)	コラッセふくしま 5F(福島駅西口)

《編集後記》 実りの秋、田んぼに異変！稲の害虫トビロウンカが4,50年ぶりに大発生。中国、ベトナムから飛んでくる。コロナウイルスしかり、アフリカからのバッタしかり、国境はないのだ(T.K)